

第28期

計 算 書 類

貸 借 対 照 表
損 益 計 算 書
株主資本等変動計算書
個 別 注 記 表

〔 自 2025年4月1日
至 2026年3月31日 〕

大 和 エ ネ ル ギ ー 株 式 会 社

貸借対照表
(2026年3月31日 現在)

(単位：千円)

科目	金額	科目	金額
(資産の部)		(負債の部)	
流動資産	11,556,131	流動負債	5,839,670
現金及び預金	278,275	工事未払金	1,301,730
受取手形	2,183	買掛金	977,469
電子記録債権	361,077	リース債務	1,254,247
完成工事未収入金	491,524	未払金	354,079
売掛金	2,101,517	未払費用	234,147
契約資産	1,594,839	未払法人税等	663,395
未成工事支出金	1,911	未払消費税等	112,470
商品	288,875	未成工事受入金	383,902
材料貯蔵品	73,089	預り金	10,276
前払費用	473,702	役員賞与引当金	47,600
関係会社預け金	5,840,065	賞与引当金	245,809
その他	53,639	工事損失引当金	9,434
貸倒引当金	△ 4,571	その他	245,108
固定資産	20,345,889	固定負債	12,324,242
有形固定資産	14,815,326	リース債務	10,851,379
建物	169,400	退職給付引当金	261,049
減価償却累計額	△ 57,259	資産除去債務	838,444
構築物	75,963	その他	373,368
減価償却累計額	△ 33,632	負債合計	18,163,912
機械装置	6,689,344	(純資産の部)	
減価償却累計額	△ 3,674,715	株主資本	13,738,107
工具器具備品	316,200	資本金	50,000
減価償却累計額	△ 233,464	利益剰余金	13,688,107
土地	353,874	利益準備金	12,500
リース資産	19,169,893	その他利益剰余金	13,675,607
減価償却累計額	△ 8,511,598	繰越利益剰余金	13,675,607
建設仮勘定	551,319		
無形固定資産	3,567,436		
借地権	101,016		
太陽光発電事業権	3,459,282		
その他	7,138		
投資その他の資産	1,963,125		
長期前払費用	543,228		
前払年金費用	544,769		
繰延税金資産	469,133		
その他	491,422		
貸倒引当金	△ 85,428		
		純資産合計	13,738,107
資産合計	31,902,020	負債・純資産合計	31,902,020

損益計算書

(自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)

(単位：千円)

科目	金額	
売上高		24,097,781
完成工事高		7,104,542
その他の売上高		16,993,239
売上原価		18,755,130
完成工事原価		6,002,060
その他の売上原価		12,753,069
売上総利益		5,342,651
販売費及び一般管理費		1,827,957
営業利益		3,514,694
営業外収益		
受取利息及び配当金	10,719	
その他の営業外収益	47,673	58,392
営業外費用		
支払利息	502,826	
その他の営業外費用	10,826	513,652
経常利益		3,059,434
特別損失		
固定資産除却損	1,566	
固定資産減損損失	202,182	203,748
税引前当期純利益		2,855,685
法人税、住民税及び事業税	941,295	
法人税等調整額	△ 84,111	857,184
当期純利益		1,998,501

株主資本等変動計算書

(自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)

(単位：千円)

	株主資本						純資産 合計
	資本金	利益剰余金				株主 資本 合計	
		利益 準備金	その他利益剰余金		利益 剰余金 合計		
			繰越利益剰余金				
2025年4月1日 残高	50,000	12,500	12,309,498		12,321,998	12,371,998	12,371,998
事業年度中の変動額							
剰余金の配当			△ 632,391		△ 632,391	△ 632,391	△ 632,391
当期純利益			1,998,501		1,998,501	1,998,501	1,998,501
事業年度中の変動額合計			1,366,109		1,366,109	1,366,109	1,366,109
2026年3月31日 残高	50,000	12,500	13,675,607		13,688,107	13,738,107	13,738,107

個別注記表

1. 重要な会計方針に係る事項に関する注記

(1) 資産の評価基準及び評価方法

未成工事支出金、商品、材料貯蔵品 個別法による原価法
(貸借対照表価額は収益性の低下による簿価切下げの方法により算定)

(2) 固定資産の減価償却の方法

- ①有形固定資産 定率法
(リース資産を除く) 但し、1998年4月1日以降に取得した建物（建物附属設備を除く）並びに2016年4月1日以降に取得した建物附属設備及び構築物については、定額法を採用しております。
- ②無形固定資産 定額法
(リース資産を除く) なお、自社利用のソフトウェアについては社内における利用可能期間(5年)に基づく定額法を採用しております。
- ③リース資産 所有権移転外ファイナンス・リース取引に係るリース資産
リース期間を耐用年数として、残存価額を零とする定額法を採用しております。

(3) 引当金の計上基準

- ①貸倒引当金 債権の貸倒れによる損失に備えるため、一般債権については貸倒実績率により、貸倒懸念債権等特定の債権については個別に回収可能性を検討し、回収不能見込額を計上しております。
- ②役員賞与引当金 役員の賞与の支給に備えるため、支給見込額に基づき計上しております。
- ③賞与引当金 従業員の賞与の支給に備えるため、支給見込額に基づき計上しております。
- ④退職給付引当金 従業員の退職給付に備えるため、当事業年度末における退職給付債務及び年金資産の見込額に基づき計上しております。なお、従業員の一部については、内規に基づく期末要支給額の全額を計上しております。
当事業年度末において認識すべき年金資産が、退職給付債務から数理計算上の差異等を控除した額を超過する場合には、前払年金費用として投資その他の資産に計上しております。
- イ. 退職給付見込額の期間帰属方法
退職給付債務の算定にあたり、退職給付見込額を当事業年度末までの期間に帰属させる方法については、給付算定式基準によっております。
- ロ. 数理差異上の差異及び過去勤務費用の費用処理方法
数理計算上の差異及び過去勤務費用は、発生した事業年度に一括処理しております。
- ⑤工事損失引当金 請負工事の損失発生に備えるため、未引渡工事のうち損失が発生する可能性が高く、工事損失額を期末において合理的に見積もることができる工事については、当該損失見込額を引当計上しています。

(4) 収益及び費用の計上基準

当社の主要な事業における主な履行義務の内容及び収益を認識する通常の時点は以下のとおりであります。

① 主要な事業における顧客との契約に基づく主な義務の内容

当社は、省エネルギーを推進する建設設備の企画・設計・施工を主とするソリューション事業、設備機器の設計提案及び販売を行う設備商品事業、太陽光・風力発電等を行う電力事業を主な事業としております。

② ①の義務に係る収益を認識する通常の時点

ソリューション事業のうち、請負工事契約に関しては、履行義務を充足するにつれて一定の期間にわたり収益を認識する方法にしており、履行義務の充足に係る進捗率の見積りの方法は、発生原価に基づくインプット法によっております。なお、契約における取引開始日から完全に履行義務を充足すると見込まれる時点までの期間がごく短い工事契約については代替的な取扱を適用し、一定の期間にわたり収益を認識せず、完全に履行義務を充足した時点で収益を認識しております。

設備商品事業における設備機器の販売に関しては、商品の出荷又は引渡時点において顧客に対する支配が移転したと判断し、収益を認識する通常の時点としております。

電力事業における電力の販売に関しては、顧客との契約に基づく毎月の検針等による顧客の使用量に基づいて収益を認識しております。

2. 会計方針の変更に関する注記

該当事項はありません

3. 会計上の見積りに関する注記

(1) 工事契約における収益認識

①当事業年度の計算書類に計上した金額

進捗度に応じた工事契約の売上高 4,256,090千円
(進捗度に応じた工事契約の受注残高 1,819,750千円)

②計算書類利用者の理解に資する情報

イ. 算出方法

請負工事契約において、一定の期間にわたり充足される履行義務については、期間がごく短い工事を除き、履行義務の充足に係る進捗度を見積り、当該進捗度に基づき収益を一定の期間にわたり認識しております。なお、履行義務の充足に係る進捗率の見積りの方法は、見積総原価に対する発生原価の割合（インプット法）で算出しております。

ロ. 翌事業年度の計算書類に与える影響

工事原価総額の見積りは、工事の進行途上における工事契約の変更、悪天候による施工の遅延、建設資材単価や労務単価等について著しい変動はないものと仮定して作成しております。
これらの仮定が施工条件の変更や調達価格の変化等によって見直された場合には、工事原価総額の見積りが変更され翌事業年度の完成工事高に影響を与える可能性があります。

4. 貸借対照表に関する注記

(1) 関係会社に対する金銭債権及び金銭債務（区分掲記したものを除く）

①短期金銭債権 392,027 千円
②短期金銭債務 20,411 千円

(2) 流動負債のその他のうち、契約負債の金額 188,333千円

5. 損益計算書に関する注記

(1)関係会社との取引高

①売上高 3,848,617 千円
②営業費用 566,194 千円
③営業取引以外の取引高 20,263 千円

(2)売上高のうち、顧客との契約から生じる収益及びそれ以外の収益の金額

①顧客との契約から生じる収益 23,577,973 千円
②それ以外の収益 519,808 千円

(3)減損損失

当社は以下の資産グループについて減損損失を認識しております。

用途	種類	減損損失 (千円)
風力発電所設備	建設仮勘定	202,182

当社は、原則として、継続的に収支の把握を行っている管理会計上の区分（支店、各拠点、各物件等）を単位としてグルーピングしております。上記の資産については、開発プロジェクトの見直しに伴い事業計画が不透明となったことから、帳簿価額を回収可能価額まで減額しました。

6. 株主資本等変動計算書に関する注記

(1) 当事業年度末における発行済株式の種類及び株式数

普通株式 1,000 株

(2) 事業年度末における自己株式の種類及び数 該当なし

(3) 剰余金の配当

①配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	配当の 原資	1株当たり配当額 (円)	基準日	効力発生日
2025年6月24日 定時株主総会	普通株式	632,391	利益 剰余金	632,391.75	2025/3/31	2025/6/25

②基準日が当事業年度に属する配当のうち、配当の効力発生日が翌期になるもの

(決議予定)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	配当の 原資	1株当たり配当額 (円)	基準日	効力発生日
2026年6月24日 定時株主総会	普通株式	699,475	利益 剰余金	699,475.44	2026/3/31	2026/6/25

7. 税効果会計に関する注記

繰延税金資産及び繰延税金負債の発生の主な原因別の内訳

繰延税金資産	
資産除去債務	253,545 千円
賞与引当金	74,332
退職給付引当金	78,941
貸倒引当金	27,216
工事負担金償却超過額	27,384
固定資産減損損失	61,139
その他	318,156
繰延税金資産合計	840,713 千円

繰延税金負債	
資産除去債務に対応する資産	△ 133,556 千円
前払年金費用	△ 164,738
その他	△ 73,286
繰延税金負債合計	△ 371,580 千円

繰延税金資産の純額 469,133 千円

8. 金融商品に関する注記

(1) 金融商品の状況に関する事項

①金融商品に対する取り組み方針

当社は、資金運用については、流動性を重視し、短期的な預金等に限定しており、資金調達については親会社からの借入による方針であります。

②金融商品の内容及びそのリスク並びにリスク管理体制

営業債権である受取手形・売掛金等は、顧客の信用リスクに晒されており、管理部門を中心に回収状況をモニタリングし、取引相手ごとに期日及び残高を管理するとともに、財務状況の悪化等による回収懸念の早期把握や軽減を図っております。
営業債務である買掛金および未払金は、そのほとんどが1年以内の支払期日であります。
関係会社長期借入金の使途は設備投資資金であり、固定金利での調達を基本としております。

(2) 金融商品の時価等に関する事項

2026年3月31日（当期の決算日）における貸借対照表計上額、時価及びこれらの差額については、次のとおりであります。

なお、現金は注記を省略しており、預金、受取手形、電子記録債権、完成工事未収入金、売掛金、関係会社預け金、工事未払金、買掛金、未払金、未払法人税等は短期間で決済されるため時価が帳簿価額に近似することから、注記を省略しております。

（単位：千円）

	貸借対照表計上額	時価	差額
リース債務	12,105,626	12,239,231	133,605
負債計	12,105,626	12,239,231	133,605

（注）時価の算定に用いた評価技法及びインプットの説明

金融商品の時価を、時価の算定に用いたインプットの観察可能性及び重要性に応じて、以下の3つのレベルに分類しております。

レベル1の時価：同一の資産又は負債の活発な市場における（無調整の）相場価格により算定した時価

レベル2の時価：レベル1のインプット以外の直接又は間接的に観察可能なインプットを用いて算定した時価

レベル3の時価：重要な観察できないインプットを使用して算定した時価

時価の算定に重要な影響を与えるインプットを複数使用している場合には、

それらのインプットがそれぞれ属するレベルのうち、時価の算定における優先順位が最も低いレベルに時価を分類しております。

リース債務の時価は、契約期間に基づいて算出した将来キャッシュ・フローを国債利回りの平均に、信用リスクを加味した利率で割り引いた現在価値により算定しており、レベル2の時価に分類しております。

9. 関連当事者との取引に関する注記

親会社

(単位：千円)

種類	会社等の名称	議決権の所有 (被所有) 割合	関係内容	取引の内容	取引金額	科目	期末残高
親会社	大和ハウス工業 株式会社	被所有 直接 100%	設備機器等の販売 工事の請負 資金の預け入れ 資金の借入れ 役員の兼任3人	(注1)設備機器・ 省施工材料および電 気・井水の販売	2,183,332	売掛金	228,254
				(注1)太陽光発電 設備設置工事等の 請負	1,665,285	完成工事 未収入金	163,680
				(注2)ＣＭＳへの 預け入れ	5,152,415	契約資産	842,306
						関係会社 預け金	5,840,065

取引条件及び取引条件の決定方針等

注1) 価格その他の取引条件は、市場実勢を勘案して当社が希望価格を提示し、価格交渉の上で決定しております。

取引金額には消費税等を含めておりません。期末残高には消費税等を含めております。

注2) ＣＭＳ（キャッシュ・マネジメント・システム）への預け入れについては、市場金利を勘案して合理的に決定しております。取引金額には、事業年度中のＣＭＳによる平均残高を記載しております。

10. 収益認識に関する注記

「1. 重要な会計方針に係る事項に関する注記（4）収益及び費用の計上基準」に記載の通りであります。

11. 1株当たり情報に関する注記

(1) 1株当たり純資産額 13,738,107円50銭

(2) 1株当たり当期純利益 1,998,501円24銭

12. 重要な後発事象に関する注記

該当事項はありません。

13. その他注記

記載金額は、千円未満を切捨てて表示しております。